

令和2（2020）年度 部局マネジメント方針

やまもと よしのぶ
副市長 山本 吉伸



私の決意

私は、昨年11月に副市長に就任いたしました。

本来でしたら、この令和2年3月末で定年退職でございましたが、改めて4年間、生まれ育った東大阪のために働く場・機会を与えていただいたことに感謝しております。

昨年は我が国においてラグビーワールドカップ2019が開催され、日本チームの活躍もあり日本国中が大きな興奮に包まれました。本市もその開催地の一つとして、多くの来訪者を迎え、国内外に本市の魅力が発信できたものと考えております。

そして、今年度、新たな組織として都市魅力産業スポーツ部を創設いたしました。

ラグビーワールドカップ花園開催で培われたレガシーを活かし、経済、観光、スポーツ施策を一体的に推進し、新たな来訪者を呼び込み、地域経済の活性化を図ることが目的であり、市内企業への販路開拓の機会創出にもつなげていきたいと考えております。

しかしながら、今回のコロナ禍により、昨年からの勢いに冷や水を浴びせられた状況にあり、市内経済、観光分野、スポーツ分野に大きな打撃を受けております。

本市といたしましては一日も早い地域経済の復興に努め、観光需要の復活、さらにはスポーツ分野の発展に努めてまいりたいと考えております。

次に、今回のコロナ禍にも関係のある地球温暖化対策についてであります。

この度本市におきましては「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を本市のあるべき将来像とする東大阪市第3次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定いたしました。地球温暖化は気候変動による自然災害だけでなく、生態系にも大きな影響を与えており、更なる未知のウィルスが発生する可能性が増すなど、公衆衛生の観点からも非常に脅威であります。

温暖化対策は言うまでもなく、地球規模全世界での取り組みが必要であります。それを達成するのは私たち一人ひとりが問題意識をもち、行動に移すことであると思っております。

早い対策を怠るほど将来の損失が膨らむ。このことを教訓に、この温暖化対策については、より良い環境を次世代へ引き継ぐためにも、事業者・市民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。